

【様式1】

| | |
|--------------------------|---|
| 団体名 糸満市立 兼城中学校 | 連絡先 TEL: 098-994-6352 Eメール: kanecyu@kanegusukuc.city.itoman.okinawa.jp |
|--------------------------|---|

1 実践事項 (②カリキュラムマネジメント)

タイトル: 「 思考力・判断力・表現力等をも高める指導法の工夫改善 」

2 実践内容

- (1) 「兼中スタイル」の実践…「対話」を意識した授業展開を、「兼中スタイル」として共通理解し、授業実践に努める。ただし、他者との対話に関しては、コロナ感染状況によって工夫して取り組み、できるだけ人との距離を保って実践するよう心掛けている。
- (2) 「兼城中学学習スタンダード」の実践…学習規律を高めるための取組として「兼城中学学習スタンダード」を全校体制で実践する。
- (3) 校内研修による授業改善の推進
 - ① 主要5教科は、週1回教科会を設定し、授業改善に向けての取組や教材研究を深める。
 - ② 日々の授業を通して学習指導の工夫改善を図り、研究を深めるために、全職員が1人1回以上の公開授業・授業参観を行う。その後、管理職と教科担当者との授業研究会を実施する。授業参観の際は「授業振り返りシート」を活用する。
- (4) 「スケジュールノート」の取組…毎日の日程表を作成・配布し、生徒に日頃の学習活動や予定などを記入させることで、主体性・計画性の育成を図った。また、「スケジュールノート強化旬間」を設け、記入の定着を図った。

3 説明資料 (写真)



4 成果

- ① 全職員が「一人一公開授業」を実施し、授業振り返りシートを活用することで、授業者が授業マネジメントについて振り返り、その後の授業改善へとつなげることができた。
- ② 「兼中スタイル」「兼城中学学習スタンダード」を実践することで、授業中生徒が集中して学習することができた。また、対話や学び合いを通して、思考の深まりにつながった。

5 課題

- ① コロナ禍の中、安全な「対話」への取り組み方を工夫する必要がある。
- ② 「スケジュールノート」に関しては、時程表に組み込み、取り組み方を統一して、全職員で一貫した指導ができるようにする。